

七高SSH通信

R1・11・13
石川県立七尾高等学校
SSH推進室 第11号

The 6th Symposium for Women Researchers

11月3日(日・祝)、東京都立戸山高校で行われた「The 6th Symposium for Women Researchers」で26Hの磯辺さん、数左さん、金谷さん、松岡さん、水上さんが自然科学研究Ⅱ(課題研究)で取り組んでいる研究をポスターセッションで発表してきました。ポスターセッションでは、第一線で活躍されている研究者の方々から直接コメントをいただくことができました。いただいたコメントは今後の研究に活かす予定です。

また、発表した研究のうち、「鏡に対するメダカの反応と行動」と「セイタカアワダチソウのアレロケミカルによる抗カビ作用」の2つが優秀な研究としてSWR賞をいただきました。



自然科学研究Ⅰ(第1学年理数科)



「最先端医療」(11月1日)

1年生生理数科生徒に対して、「自然科学研究Ⅰ」で、「最先端医療」のユニットとして、金沢医科大学遺伝子医療センターのセンター長である新井田要教授による「ゲノム医療の現状と未来」の講義が行われました。

このユニットは、第一線の研究者による講座を通して、医学の最先端について学習し、生命現象について理解を深め、科学的な視野を養うことを目的として、毎年行われています。講義では、遺伝子やそれに関わる病気や治療法、その仕組みについて、わかりやすく説明していただき、生徒も活発に質問をしていました。



自然科学研究Ⅰ(第1学年理数科)



「地学実習」(9月25日)

金沢大学理工研究域自然地球社会基盤学系の神谷隆宏先生の指導のもと、金沢市大桑町犀川河床にある大桑層(おんまそう)で、「地学実習」を行いました。実習前に、学校で地球誕生から46億年の地球の歴史と生物の進化、および示相化石と示準化石について学習しました。

実習の当日は、神谷先生から「石川の地質」と題した、能登半島の地形や日本海の形成、大桑層で見られる化石と当時の気候について講義を受けた後、大桑層へ移動し貝化石を採取しました。採取した化石は、金沢大学で4名の学生の支援を受け、クリーニングと同定作業をしました。

この日は前日まで雨が降り、化石を採取できるか心配でしたが、幸い雨もやみ、どの班も多数の化石を手にすることができました。オンマフミガイ、タマツメタガイ、ヒダリマキイグチガイ、アズマニシキなどの化石が採取できました。同定した化石から、当時の環境やその変動等について、レポートにまとめました。



化学グランプリ2019

7月15日(月・祝)に行われた、「化学グランプリ2019」で36Hの南圭吾くんが成績優良者として日本化学会近畿支部の支部長賞に選ばれました

化学グランプリは、一言で言うなら化学に関する知識や考え方を競う大会です。そう聞くと、化学の勉強ができないといけないんじゃないか・・・と思う人もいるかもしれません。

しかし、問題を解くのに必要な知識や情報は与えられるので、大切なのはそれをどう使うかの部分なんです。化学の得意・不得意に関係なく、どんな人でも楽しめる問題で、化学の力を伸ばすのもってこいです。

ぜひ、皆さんも参加してみてください。

